

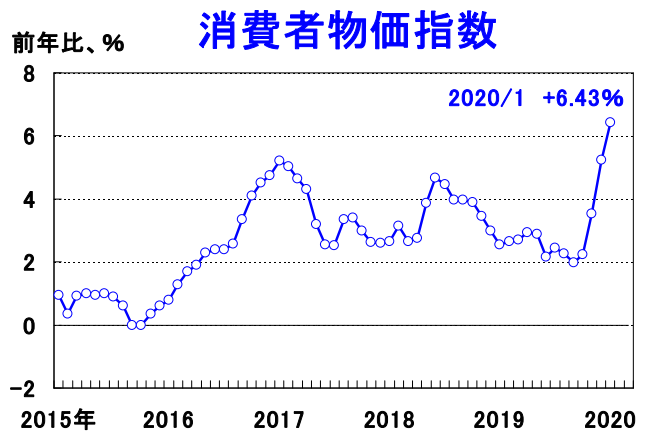
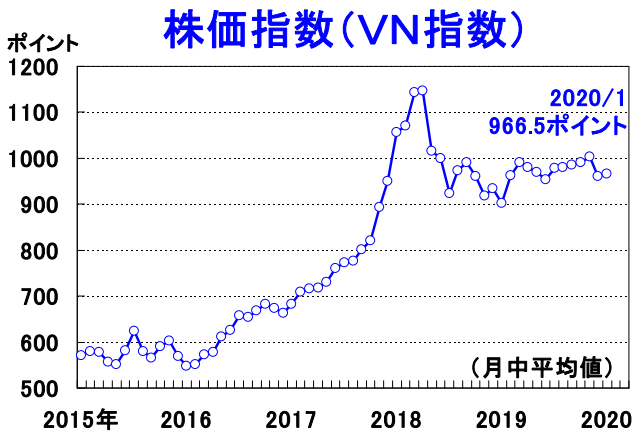
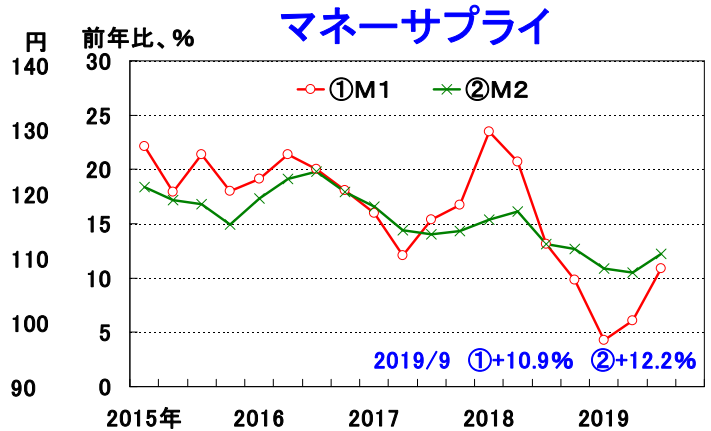
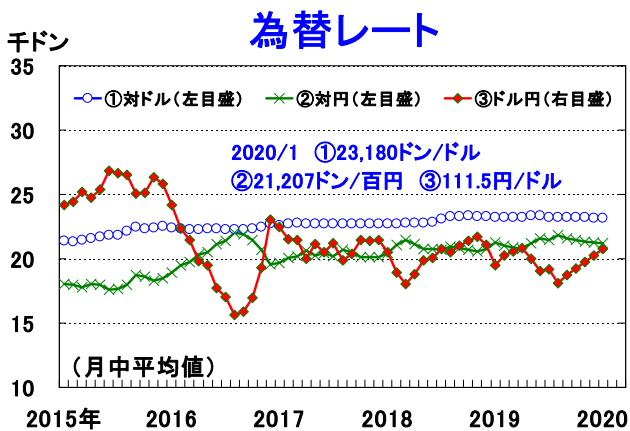
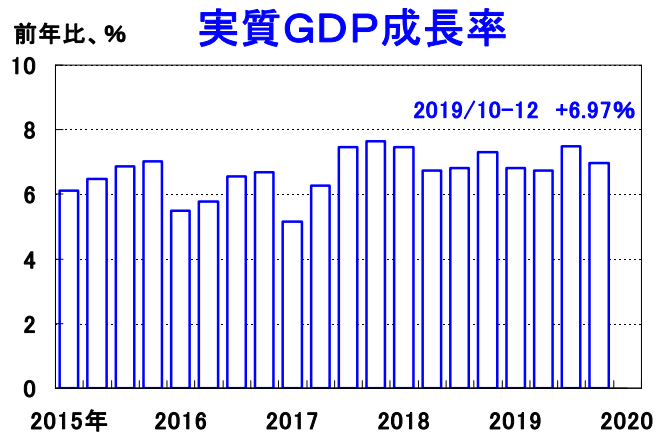
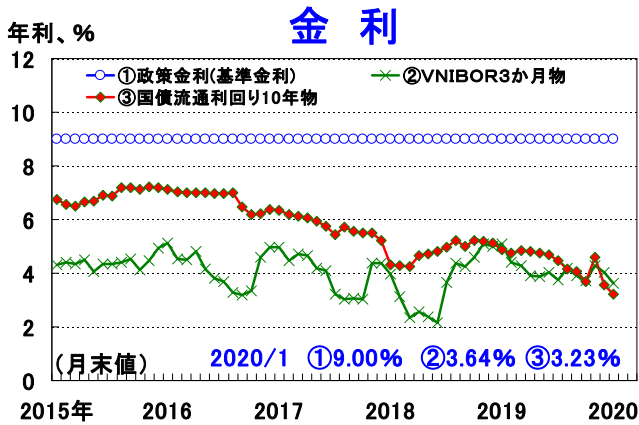
グラフで見るベトナム経済 2020年2月号(No. 121)

ベトナムの2020年1月の経済指標をみると、今年の旧正月(テト)休暇が1月となった(1月23~29日、昨年は2月2~10日)影響により、弱めの結果となった。すなわち、輸出は前年比-14.3%と前年水準を下回り、また鉱工業生産も同-5.5%と減少した。こうした中、製造業PMIは50.6と中立水準の50を上回ったものの、2か月連続で低下している。内訳をみると、「生産」が49.3と2015年9月以来の低水準となった。次に、家計部門をみると、小売売上高は前年比+10.2%(前月は同+11.8%)と2018年4月以来の低い伸びとなった。

【足元の景気判断】

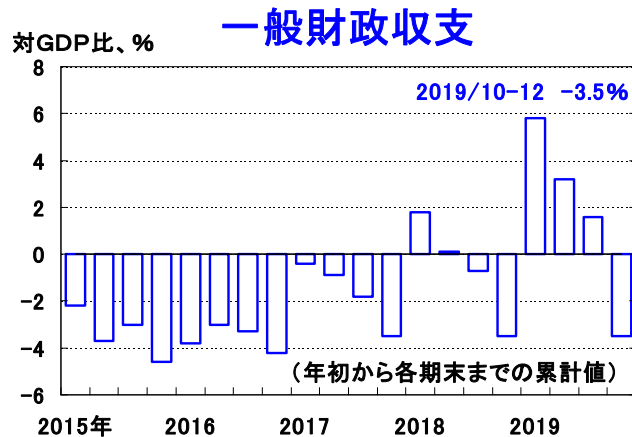
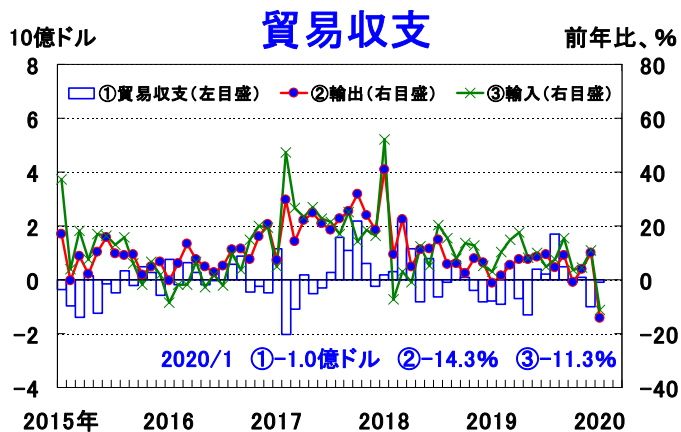
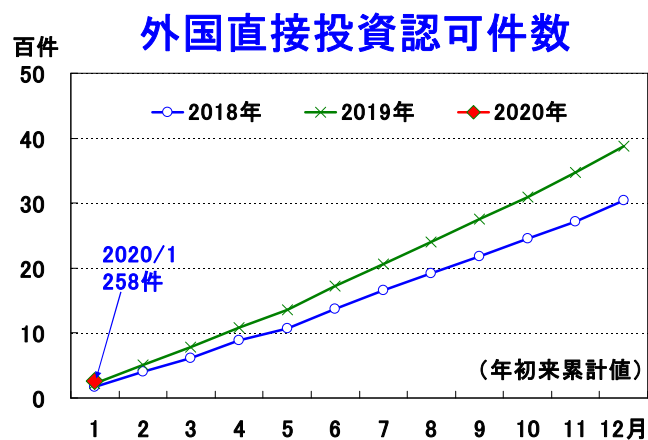
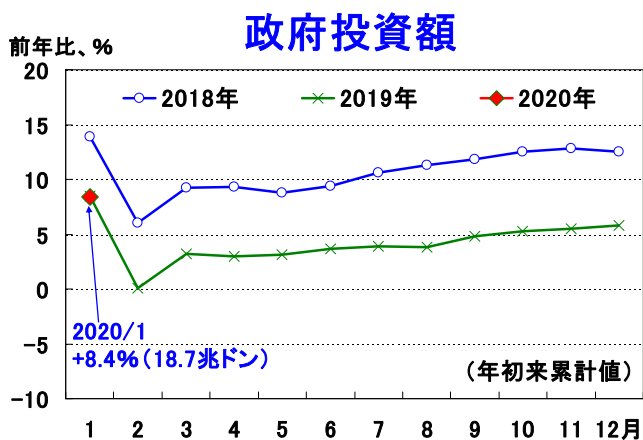
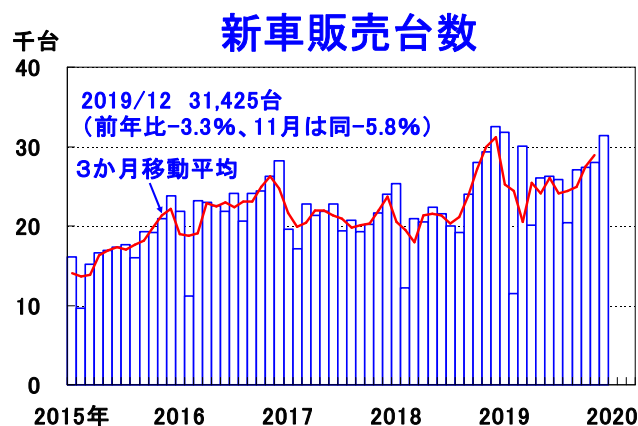
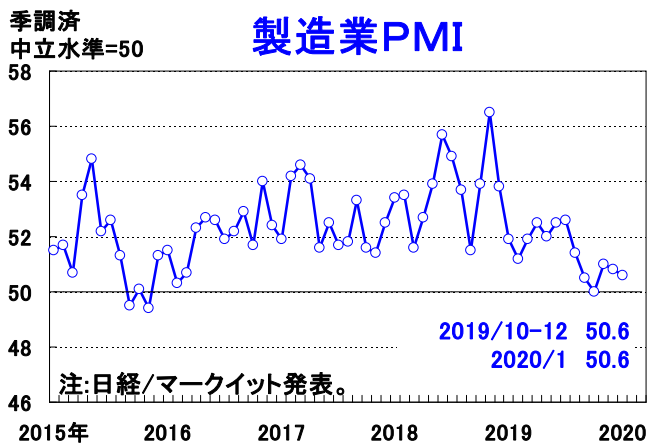
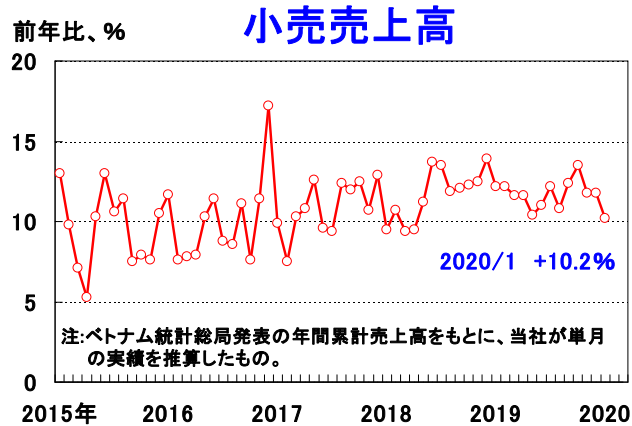
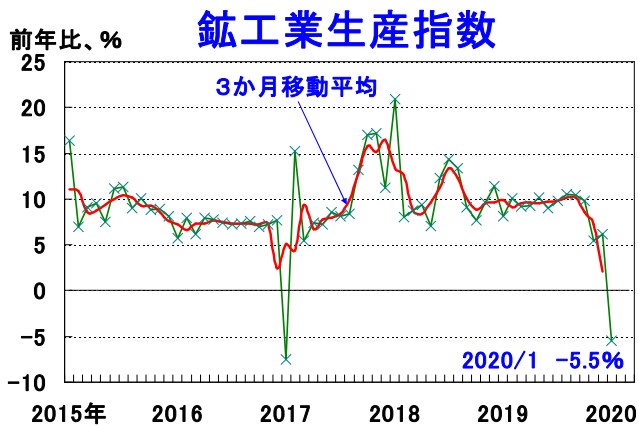
指標	景気全般	輸出	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↓	↓	↓	↓	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。